



花園大学 後援会事務局 〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1 Tel.075-279-3630 (直通) Fax.075-823-2412

後援会会長就任のご挨拶

会長 後藤 宏道



後援会会員の皆様には、日頃より後援会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度後援会会長の職を務めさせていただきこととなりました。もとより浅学非才の身ではありますが、母校の為、在学生の皆様のために理事の皆様や事務局と協力しまして後援会活動を進めて参る所存であります。

本年五月より、新型コロナウイルスの扱いも2類相当から5類に変更になり、キャンパス内は一気にコロナ前かのように活気が戻って参りました。現在の四回生は入学時から制限の中でキャンパスライフでありました。

このコロナ禍の制限で十分な活動ができないまま卒業された方々の事を思うと残念でなりません。

そのような中昨年度は創立150周年を迎え「返照館」「楽道館」「人工芝グラウンド」が完成し、学内WiFi環境の整備強化や各館のトイレ改修工事も行われ、より快適になりました。クラブ・サークル・ボランティア活動も以前のような活動が戻って参りました。今年度は野球部が京滋大学野球春季リーグで十三季(七年)

ぶりに優勝し、二回目の全日本大学野球選手権大会への出場を果たしたことは私共卒業生にとってもたいへん嬉しい事でありました。大学選手権出場に際しまして寄付を頂戴いたしました会員皆様に厚く御礼を申し上げます。その他にも活動する個人・団体にも「課外活動援助金」を支給しその活動を支援して参ります。更に「後援会温玉ごはん」と「マイナス1000円朝食」の『学生支援活動』も後援会理事の皆様や学生さん方の意見を取り入れ、より良い形に改善しながら行って参ります。

後援会の会則には「建学の精神に基づき大学の事業を後援し、併せて在学生の教育に資する事を目的とし、目的を達成する為に必要な事業を行う」とあります。大学職員・後援会役員と事務局が一丸となって在学生がより良い学生生活を送れますよう支援して参ります。会員の皆様には、引き続きご協力頂きますようお願い申し上げます。

新役員紹介

2023年度の役員は次のとおり決定いたしました。任期は1年です。

- 会長 後藤 宏道様
- 副会長 長島 義堂様
- 幹事 小坂 雅俊様
- 川井 彰様

会計監事は次の2名です。任期は1年です。

- 監事 松村 隆志様
- 小川 里美様

理事総数は16名です。



学生にエールを送ろう

花園大学学長 磯田 文雄



はじめての夏休み

日頃、花園大学の教育研究の充実発展のためにご支援いただいておりますことを厚くお礼申し上げます。おかげさまで本年度前期の授業もごおわりなく終了いたしました。

これから学生たちは、夏の合宿に、一月月の海外留学に、あるいは卒論の執筆に向かうなどそれぞれの目標と想いを胸に活動を広げていくものと考えています。コロナの制限をまったく受けないはじめての夏休みです。学生さんには、思う存分この休みを生かしていただきたいと願っています。

にぎやかな学生の登校風景

本年度の花園大学入学者数は三百二十人で、昨年度の三百八人より十二人増えました。多くの大学が入学者数を減少させる中で、花園大学は入学者数を増やすことができました。このことは、後援会、同窓会、高等学校、そして何よりも、本学を選んでいただいた新入生及び保護者の皆様のおかげと深く感謝しております。

毎朝、私は正門に立って学生さんに挨拶していますが、学生さんの登校風景が一変しました。にぎやかなのです。いつも仲良しグループでお

しゃべりながら登校する学生、クラブの用具を携え統一された服装で力強く歩む強化クラブの学生、二、三人でとても大切なことを他人に聞かれないように顔を近づけて話している風の学生、もちろん孤高を保ち一人さっそうと歩く学生、学生それぞれですが、勢いがあり、のびやかな足取りが聞こえてきます。

学生が支える大学の教育研究

二十一年ノーベル化学賞を受賞した名古屋大学の野依良治先生は、大学の教育研究に対する学生の貢献は極めて大きいと語っています。様々な専門的な研究所では膨大な予算と装置を使って研究を進めているのに、なぜ予算規模でも装置でもはるかに見劣りする大学からノーベル賞受賞者が輩出するのか、その答えは学生がいるからです。

学生は新しい息吹を大学に持ち込みます。新鮮な感性、既成概念を超えた考え、位相の異なる視座、そして経験がないという経験、これらのものが大学において既存の価値観や知識と混じり合い、融合し、まったく新たな知識や法則として生まれ変わります。学生がいるからこそ新たな学術の創造があるのです。研究所には、学生のような外部からの新鮮な挑戦者が現れないから創造性において欠けることがあるのです。

毎年新たな学生が入学してきます。今年の学生は昨年の学生とは違います。大学における教育活動とは、毎年、毎年、訪れる新たな若者たちの挑戦に応えることです。同じ若者は一人もいません。したがって、同じ対応はできません。一人ひとりの学生に向き合い、ともに時間を過ごす中で教育が展開されます。教育を豊かにし、革新していくのは、実は学生なのです。

私が正門で学生に挨拶している想いの一つは感謝です。大学に来てくれてありがとうございます。花園大学の今があるのは学生諸君のおかげです。心から学生諸君にエールを送りたい。

2022▶2023
Hanazono University

理事会報告

2023年6月1日(木)、
花園大学後援会理事会を開催いたしました。

▶2022年度事業・決算報告/2023年度事業計画・予算

2022年度後援会事業報告

1.後援会関係会議	<input type="checkbox"/> 理事会 5月25日(水)15時 花園大学栽松館3F大会議室 <input type="checkbox"/> 役員会 5月11日(水)13時 花園大学栽松館3F大会議室 <input type="checkbox"/> 監査 4月22日(金)10時 花園大学栽松館2F第2応接室 <input type="checkbox"/> 監査 4月27日(水)10時 花園大学栽松館2F第2応接室
2.課外活動への支援	<input type="checkbox"/> 課外活動特別援助金(2団体4個人):計430,000円 <input type="checkbox"/> 卒業生特別表彰者に記念品(35名):表彰を受けた卒業生に後援会記念品(QUOカード)
3.在学生対象イベント・支援活動	<input type="checkbox"/> 学生食堂支援「後援会温玉ごはん」150円の内50円を補助 「マイナス100円朝食」月曜日限定0円朝食+100円チケット 計200円負担 <input type="checkbox"/> 学内Wi-Fi環境の整備 学内通信ネットワークと学内無線ネットワーク(Wi-Fi)設備の更新によって通信品質の向上と安全性確保のため、学内無線アクセスポイントとL2スイッチの更新(バージョンアップ)に予算を充当させていただきました。 「無線アクセスポイント」…PCやスマートフォンなどの端末間を無線接続するため、電波の送受信を行う機器 「L2スイッチ」…データの整理と送受信を効率的に行う機能
4.機関紙の発行・発送	<input type="checkbox"/> 後援会通信ひしよの発行・発送:63号(9月発行),64号(3月発行)
5.将来にわたる特別経費	<input type="checkbox"/> 無聖館トイレ改修工事(各フロアのトイレを洋式化、床面の乾式化を実施) 「対雲館」(3階建て)のトイレ改修工事に引き続き、「無聖館」(地下1階から地上5階建て)のトイレ改修工事を行いました。このトイレ改修(45,584,000円)に対し、学生が長く使用することから「将来にわたる特別経費」として1/2にあたる22,792,000円を助成しました。

2023年度後援会事業計画

1.後援会関係会議	<input type="checkbox"/> 理事会 6月1日(木)15時 花園大学栽松館3F大会議室 <input type="checkbox"/> 役員会 5月18日(木)15時 花園大学栽松館3F大会議室 <input type="checkbox"/> 監査 5月16日(火)10時 花園大学栽松館2F第2応接室
2.在学生対象支援活動	<input type="checkbox"/> 学生食堂支援 「後援会温玉ごはん」150円の内50円を補助 「マイナス100円あさごはん」0円朝食+100円チケット配布 開講期間中月曜日8:30~9:00朝食100円+100円チケット200円負担
3.機関紙の発行・発送	<input type="checkbox"/> 後援会通信ひしよの発行・発送: 後援会通信ひしよ65号(9月発行) 後援会通信ひしよ66号(3月発行)
4.学生助成費	<input type="checkbox"/> 教育・研究助成費【内容】健康診断、学生教育研究災害傷害保険 <input type="checkbox"/> 課外活動特別援助費【内容】課外活動援助金、特別表彰記念品
5.硬式野球部応援援助費	令和5(2023)年度京滋大学野球春季リーグ戦において、本学の硬式野球部が13季(7年)ぶり2度目のリーグ優勝を果たしました。これにより、6月5日より開催される全日本大学野球選手権大会への出場権を獲得しました。この大会は高校野球で言えば甲子園に相当する全国大会であり、明治神宮野球場・東京ドームで開催されます。その大会に向け頑張っている選手たちを、後援会からも応援したいと考えております。

2022年度決算(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

収入の部		(単位 円)			
項	科目	本年度予算額	本年度決算額	差異	付記
1	会費収入	10,000,000	11,390,000	▲1,390,000	
	年会費	10,000,000	11,390,000	▲1,390,000	10,000円×1076名+預り金(10,000円×63名)
2	雑収入	30,040,000	42,283,981	▲12,243,981	
	受取利息	40,000	43,661	▲3,661	定期預金利息+普通預金利息
	その他	30,000,000	42,240,320	▲12,240,320	積立金(固定資産)取り崩し
	小計	40,040,000	53,673,981	▲13,633,981	
3	前年度繰越支払資金	46,355,800	46,355,800	0	
	収入の部合計	86,395,800	100,029,781	▲13,633,981	

支出の部		(単位 円)			
項	科目	本年度予算額	本年度決算額	差異	付記
1	学生助成費	8,550,000	7,854,298	695,702	
	教育・研究助成費	7,550,000	6,854,298	695,702	大学へ助成
	課外活動特別援助費	500,000	500,000	0	後援会直接支払分
	防災対策備品整備費	500,000	500,000	0	大学へ助成
2	後援会員交流事業費	22,600,000	21,648,465	951,535	
	後援会通信印刷費	1,200,000	1,125,300	74,700	後援会通信ひしよ(タブロイド版 年2回発行)
	通信費	400,000	322,245	77,755	後援会通信ひしよ2回発送費
	学生生活援助費	21,000,000	20,200,920	799,080	学食補助・Wi-Fi環境の整備
3	後援会運営費	845,000	492,722	352,278	
	理事会費	400,000	166,729	233,271	退任理事お礼(8名)
	役員会費	200,000	54,500	145,500	役員会(2回)役員旅費交通費、飲み物代
	監査会費	10,000	56,480	▲46,480	
	旅費交通費	0	21,560	▲21,560	学位記授与式来賓出席交通費
	通信費	10,000	0	10,000	切手代
	事務費	25,000	12,265	12,735	振込手数料
	慶弔費	200,000	181,188	18,812	学生ご父母3名、教職員ご父母6名、弔事用不祝儀袋
4	将来にわたる特別経費	30,000,000	22,792,000	7,208,000	
5	積立	0	0	0	
6	予備費	23,770,800	23,770,800	0	
	小計	85,765,800	52,787,485	32,978,315	
7	預り金調整	630,000	630,000	0	
8	次年度繰越支払資金	0	46,612,296	▲46,612,296	
	支出の部合計	86,395,800	100,029,781	▲13,633,981	

2023年度予算(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

収入の部		(単位 円)			
項	科目	本年度予算額	前年度予算額	差異	付記
1	会費収入	9,800,000	10,000,000	▲200,000	
	年会費	9,800,000	10,000,000	▲200,000	10,000円×980名(1,400通×0.7)
2	雑収入	1,040,000	30,040,000	▲29,000,000	
	受取利息	40,000	40,000	0	定期預金利息+普通預金利息
	その他	1,000,000	30,000,000	▲29,000,000	積立金(固定資産)から繰入
	小計	10,840,000	40,040,000	▲29,200,000	
3	前年度繰越支払資金	46,355,800	46,355,800	0	
	収入の部合計	57,195,800	86,395,800	▲29,200,000	

支出の部		(単位 円)			
項	科目	本年度予算額	前年度予算額	差異	付記
1	学生助成費	7,200,000	8,550,000	▲1,350,000	基本的に全学生を対象とする事業
	教育・研究助成費	6,700,000	7,550,000	▲850,000	助成
	課外活動特別援助費	500,000	500,000	0	後援会直接支払分
	防災対策備品整備費	0	500,000	▲500,000	
2	後援会員交流事業費	2,650,000	22,600,000	▲19,950,000	
	印刷費	50,000	0	50,000	会費振込用紙発送用封筒
	後援会通信印刷費	1,200,000	1,200,000	0	通信印刷費(タブロイド版 年2回発行)
	通信費	400,000	400,000	0	会報発送等
	学生生活援助費	1,000,000	21,000,000	▲20,000,000	学食補助
3	後援会運営費	735,000	845,000	▲110,000	
	理事会費	300,000	400,000	▲100,000	理事会理事旅費交通費、退任理事お礼
	役員会費	100,000	200,000	▲100,000	役員会役員旅費交通費、飲み物代
	監査会費	10,000	10,000	0	監査会監事旅費交通費
	旅費交通費	100,000	0	100,000	入学式・学位記授与式・創立記念式典来賓出席交通費
	通信費	10,000	10,000	0	レターパック・切手代
	事務費	15,000	25,000	▲10,000	振込手数料
	慶弔費	200,000	200,000	0	
4	硬式野球部応援援助金	1,000,000	0	1,000,000	硬式野球部全国大会出場に伴う寄附
5	将来にわたる特別経費	0	30,000,000	▲30,000,000	無聖館トイレ改修工事費用
6	預り金支出	0	630,000	▲630,000	2022年度新入生年会費(～2022/3/31納入者)
7	積立	0	0	0	
8	予備費	45,310,800	23,770,800	21,540,000	
	小計	57,195,800	86,395,800	▲29,200,000	
9	次年度繰越支払資金	0	0	0	
	支出の部合計	57,195,800	86,395,800	▲29,200,000	

2022年度学生助成費詳細

計画	執行額	付記
●教育・研究助成費充当計画	6,854,298	
健康診断	4,621,760	2022/4~6 計1,313名が受診(@3,520円)
学生教育研究災害傷害保険	1,610,570	学生教育研究災害傷害保険(付帯賠償責任保険)全学生分
学園祭補助金	500,000	2022/10/22~23に実施
新入生オリエンテーション	121,968	新型コロナウイルス感染症対策のため学内で実施
●課外活動特別援助金	500,000	
課外活動援助金	430,000	活動援助として2団体4個人に支援
特別表彰記念品	70,000	特別表彰者にQUOカードを贈呈
●防災対策備品整備費	500,000	
防災対策備品整備費	500,000	4年計画2期目のうち2年目
合計	7,854,298	

2023年度学生助成費充当計画表

計画	予算額	付記
●教育・研究助成費充当計画	6,700,000	
健康診断	5,000,000	2023/4~6工場保健会で受診(@3,520円)
学生教育研究災害傷害保険	1,700,000	学生教育研究災害傷害保険(付帯賠償責任保険)
●課外活動特別援助費	500,000	
課外活動援助金	500,000	団体・個人への活動援助金
特別表彰記念品		特別表彰
合計	7,200,000	

2022年度学位記授与式

2022年度の学位記授与式は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため卒業生と教職員のみで式典として3月17日に挙行了しました。ただし、保護者と在学生への学内入構は可として学内の別会場でライブ配信を行いました。学部生380名、大学院生6名が学位を授与され本学を卒業・修了しました。

磯田文雄学長は式辞の中で、学問をするため、そして、社会で活動するため、皆さんにお願いしたいことがあります。それは「書くこと」を一生学び続けていただきたいということです。短い時間で簡潔に説明できる人がいますが、その人はしっかりと書くことができます。書くことは人間の活動の基本です。是非、書くことを学び続けてくださいと述べられました。

卒業生・修了生を代表して文学部日本史学科の奥村亮太さんが「コロナ禍で制限が多い大学生活でありましたが、何事にもチャレンジという自身の目標通り、充実した日々を過ごしました。これからも自分の軸をしっかり持ち、花園大学での学びを胸に自分らしく歩んでいきたい。」と謝辞を述べられました。



2023年度入学式

2023年度の入学式は保護者の方も式典会場に入場できるようにして4月5日に挙行了しました。学部生332名、大学院生8名、総勢340名の新入生は列席の教職員に大きな拍手で迎えられました。

磯田文雄学長は式辞の中で花園大学は国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」の基本的哲学である「誰一人取り残さない - Leave no one behind -」を基本に、学生一人ひとりを大切にしながら丁寧な教育に取り組み、多様性を一つの大学という組織の中に包摂した活動を展開します。

次に、大学生活を始めるにあたって、ぜひ心にとめておいていただきたいことを申し上げます。まず、「初心忘るべからず」です。第二に、困ったことがあり思い悩むときは、周囲の人と対話を重ねてください。

第三に、「分かち合い」を大切にしてください。と述べられました。

その後、新入生を代表して日本文学科の橋木暖人さんが宣誓を読み上げて花園大学での新生活をスタートさせました。



「本山早朝参拝」「花まつり」

5月25日の創立記念日には、本学の建学の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」における最も重要な行事のひとつとして、本山早朝参拝を実施しました。

午前9時、厳粛な雰囲気の中、約50名の学生・教職員は、妙心寺・玉鳳院および開山堂にて、栗原正雄学園長導師のもと、諷経参拝を行ない、開基花園法皇、開山無相大師の遺徳を偲び、今こうしてそれぞれがあることへの感謝の気持ちを新たにしました。

また、同日の昼休みの時間帯には「花まつり」を開催しました。会場となりました栽松館1階エントランスホールには、約50名の学生・教職員が参加しました。導師は横田南嶺総長が務められました。学生による献灯・献花を行い、その後、般若心経が唱えられ、積尊のお誕生と、勉学向上祈願の回向を奉呈しました。最後に参加者が順次焼香をし、花御堂の釈迦誕生仏甘茶をかけ、厳粛な式典となりました。



佐々木閑特別教授就任記念対談

花園大学ではこの度、佐々木閑仏教学科教授に特別教授の称号を付与しました。特別教授とは、専門分野で特に優れた業績を挙げ、国内外で極めて評価の高い研究を現に行なっている教授・特任教授に付与する称号です。第1号となる佐々木特別教授の就任を記念し、横田南嶺花園大学総長との記念対談を企画し、花園大学創立記念日に実施しました。



動画は右の二次元QRコードからご視聴いただけます▶



第71回全日本学生剣道選手権大会に出場



本学剣道部の酒井良輔さん(日本史学科4回生)が、2023年7月2日に日本武道館にて開催の「第71回全日本学生剣道選手権大会」に出場しました。この大会は「第71回関西学生剣道選手権大会」でベスト30までに入ると出場することができます。結果は惜しくも初戦敗退でしたが、全日本への出場は後輩たちにも大きな希望を与えることができました。今回の貴重な経験を糧に、剣道部のますますの成長と活躍を期待したいと思います。

進路サポート課

自分で考えて行動し、納得できる進路選択をする!

新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、経済が活発化していく中で、企業・団体の採用意欲は一段と高まり、求人数も大きく増加している状況です。
4回生については、進捗状況や活動内容が一人ひとりと異なるため、個別対応が大変重要となります。今年度も、ゼミ担当の先生方の協力を得て、気軽に窓口まで工面して名刺サイズの「案内カード」を配布しました。同時に、オンラインにて進路状況調査を行い、その結果を元に、個別に電話をかけて状況を丁寧に聴き出し、学生一人ひとりの状況に応じたサポートにつなげています。また、本学への採用意欲が高く、大学まで足を運んでくださる企業・団体の数も昨年に比べて増加しており、学生の希望状況に応じて、個別に求人情報提供につなげています。さらに、状況調査の中で特に不安を感じる回答が多かった「履歴書の書き方」「面接対策」の講座をバックアップセミナーとして開催しました。
3回生には、6月に第1回就職ガイダンスを実施しました。進路サポート課の支援内容につ

※「花☆サポ」スマートフォンやパソコンから、求人やインターシップの検索、個別相談・支援講座参加の予約、各マナーシートのダウンロード、就活準備動画閲覧など、就職活動に必須のシステムです。

「進路サポート課」案内カード 10種類の中から選べるように工夫しています▼



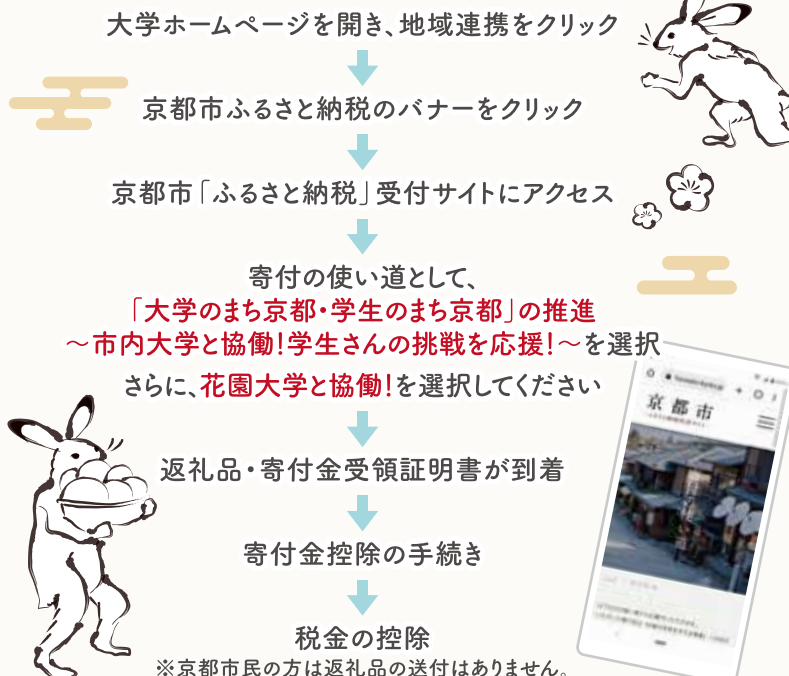
いて、これからの就職活動の流れや花園大学進路サポートシステム「花☆サポ」(※)の登録と活用の仕方などを説明しました。その他、インターシップ参加の促進、就活サポートイベントとして、「就活スタートセミナー」「仕事研究セミナー」を開催し、就職活動本番への準備につなげています。
1・2回生にも、必修の基礎教育科目「学びのナビゲーション」を通して、進路サポート課の説明や「花☆サポ」の初期登録・進路についての動画視聴を案内し、活用してもらうことにより、低回生のうちから進路サポート課に親しんでもらう工夫をしています。

京都市ふるさと納税を活用し、花園大学へご支援をお願いします

2023年4月から、京都市へふるさと納税をしていただくと、翌年度に寄付金額の一部が花園大学へ配分されることになりました。配分された助成金は、本学の地域連携等推進事業に活用させていただきます。花園大学へのご支援をよろしくお願いいたします。詳しくは、京都市ふるさと納税特設サイト (<https://furusato-kyoto.jp/usage/>) をご覧ください。



「ふるさと納税」のお手続きの流れ



※京都市民の方は返礼品の送付はありません。

硬式野球部 第72回全日本 大学野球選手権大会出場



川崎 克巳 監督

第72回全日本大学 野球選手権大会の結果

日頃より花園大学硬式野球部活動に對し、ご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。今回の第72回全日本大学野球選手権大会出場におきましては、多大なご支援を頂戴しましたことに感謝申し上げます。

私は本年3月1日より花園大学に勤務し、硬式野球部監督に就任いたしました川崎克巳でございます。本学就任前は大阪府立高校教諭として39年間勤務し、島上大冠(現大冠)、門真西、高槻北高校で硬式野球部の監督を務めて参りました。

今回、就任3カ月で全国大会出場を勝ち取る事が出来ましたのは、3月に行った春季キャンプが大きかったと思っております。8泊9日寝食を共にすることで選手一人ひとりの個性や考え方を知ら

とが出来ました。就任後間もない時期でしたので、選手は私の野球指導について疑心暗鬼な部分もあったのではないのでしょうか。私は高校と大学で指導方針に大きな違いはないと考えております。大切なことは「凡事徹底」。何でもないことを徹底してやりぬくことで大きなことが成しえる。これは硬式野球のみならず選手の勉強や学生生活全てに当てはまると考えております。この考えを伝え、実践することでキャンプ後はチームがまとまり、春季リーグ戦では前半のピンチを守り抜き、終盤に得点する試合が続きました。全国大会一勝を成しえることは出来ませんでした。この経験が今後に大きく生きてくるものと信じております。この方針を軸に指導に当たって参ります。皆様の更なるご声援をよろしくお願い申し上げます。

京滋大学野球連盟代表の本学選手団は、6月4日の開会式にあわせて上京し、その後は都内で練習を重ねました。6月7日関西六大学代表の大阪商業大学と東京ドームで対戦しました。投手は奥田(4回生八幡商業高)・藤原(2回生水口高)・小林(2回生栗東高)と継投しました。一回に1点を先制され、その後五回、六回に失点しました。打線は七回に櫻田(3回生辰誠学園高)、岩田(4回生東山高)と連続ヒットで出塁し、植西(2回生京都国際高)の犠牲フライで1点を返しましたが7対1で敗れました。力の差を感じる残念な試合結果となりました。プロ野球が使用する東京ドームの独特な雰囲気の中で、少し気持ちが舞い上がり、いつもの試合運びが出来なかったと感じています。

一方で収穫もありました。応援の硬式野球部員は、花園大学を応援してくれる250名以上の応援団の先頭に立ち「エール交換、大学歌合唱など」声を張り上げ力いっぱい応援しました。用意した応援グッズが不足し、球場に足を運ぶ以外にもたくさんの方が応援してくださる熱い気持ちは、全国大会でプレーする選手の大きな支えとなりました。



今後の展望・目標など

全国大会を終え、3回生を中心にした新チームとなりました。川崎監督をはじめ奥本助監督や境田副部長、矢野コーチの指導の下、関西オールスター5リーグ対抗試合や新人戦、京滋大学野球連盟秋季リーグ戦に向けて練習をしています。

全国大会に出場したことで、もっと上の世界があることを肌で感じる事が出来ました。以前は「この練習が何につながるのだろうか?他大学はちゃんとした設備があるのに…」などと思うこともありましたが、口だけの目標ではなく、チーム一丸となって「全国大会での勝利」という目標が定まったと感じています。まだまだ未熟ではありますが、今後も練習はもちろん単位も取得し(笑)努力を続けていきますので、皆様の熱いご声援をよろしく願いたします。

—2023年度公開講座— 禅とこころ

ご来場の皆さまの健康と安全の確保、また新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、2023年度の「禅とこころ」は当面の間、一般の方(科目等履修生・聴講生を含む)の聴講をご遠慮いただく事にいたしました。なお、横田南嶺花園大学総長の講義のみ花園大学ホームページ(<https://www.hanazono.ac.jp>)からご視聴になれます。

パソコン画面より視聴する方法



下の⑤へ